

JWDグループ行動規範

JWD Group Code of Conduct

Ver.1.1

01	トップからのメッセージ	p.1
02	フィロソフィーと行動規範	p.2~3
03	行動規範とは	p.4~5
04	JWDグループのコミットメント・アクション	
①	誠実・公正な事業活動へのコミットメント	p.6~7
②	透明性・堅牢性へのコミットメント	p.8~9
③	社会・環境・安全へのコミットメント	p.10~11
05	JWDグループ職員としての責務	p.12~13
06	声をあげる責任	p.14~15
07	JWDグループ内部通報窓口	p.16~17

皆さんの努力により、これまでJWDグループはその開発力を強みとして国内有数の開発実績を誇り、風力発電の普及に貢献してきました。風力業界は新たな制度の導入や、かつて経験のない物価高騰等の影響を受けて厳しい状況に置かれており、今後もさまざまな障壁に直面するかもしれません。それでもJWDグループは、いかなる事業環境の変化にも臆することなく順応し、開発の推進に力を注いでいきます。

今後私たちが成長を続けるためには、まず、世の中から認められる健全な会社であること、単に法律を順守するだけでなく、最も高い倫理基準に基づき事業を行うことが不可欠です。すべてのステークホルダーから信頼され、応援していただける会社でなければなりません。そのため、まずは法令・社内ルール遵守の企業風土の構築に徹底的に取り組めます。

今回この行動規範を策定した目的は、JWDグループ社員がどのように行動すべきかを、明確に示すことです。行動規範に基づいて行動することにより、まず私たちはより良い、倫理的な決断を下すことができます。さらに皆さんが迷わずに意思決定できるようになり、自身の意思を持って積極的に業務に取り組むことができます。反対に、自分の行動がこれらの基準を満たさなければ責任を問われることになります。

JWDグループのすべての役員・従業員の皆さんは、日々の業務の中で自信をもって正しいことをするためにこの行動規範の内容を十分に理解し、遵守してください。そして、もし不正行為を知ったら、迷わず報告してください。声をあげることは正しい行動であり、皆さんの責務でもあります。誠実な報告に対する報復は絶対に許さず、その勇気ある行動を高く評価して真摯に対応します。

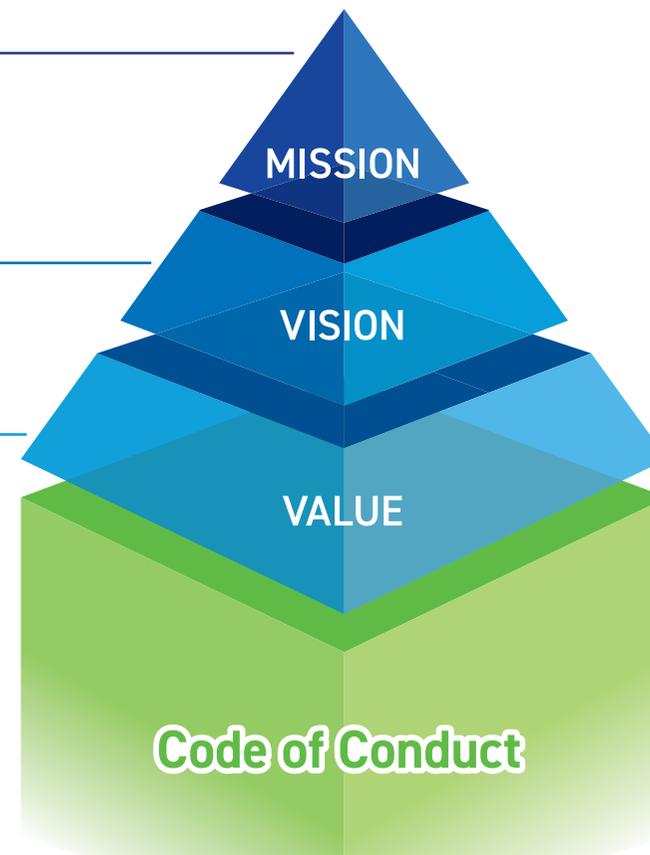
2050年カーボンニュートラル実現に向けて、風力発電事業は世の中よりますます求められるものになるでしょう。「風力発電の普及を通じ、エネルギー問題の解決と、地域の発展に貢献する」という私たちの使命(MISSION)を常に意識して行動し、社会や取引先、そして一緒に働く同僚からの信頼を獲得し、信望を受け続ける存在になれるよう共に頑張りましょう。



日本風力開発株式会社
代表取締役

松島 聡

フィロソフィー：
時代を超えて受け継いでいくJWDグループの信念、経営哲学



MISSION ~私たちの使命~

風力発電の普及を通じ、エネルギー問題の解決と、地域の発展に貢献する

VISION ~私たちの目指す姿~

1. 開発～建設～O&M・電力供給のサイクルを磨きあげ、競争力を業界トップにまで高める
2. 地域から信頼され、必要とされる企業になる

VALUE ~私たちの価値観・行動指針~

至誠を貫く

私たちの事業は、全て信頼の上に成り立っている。だから私たちは、正しい行いを積み重ねていく。嘘をつかない、逃げない、ごまかさない。金銭の赤字は出したとしても、信用の赤字は決して出さない。

王道を行く

私たちは、ちっぽけな存在だ。しかし私たちは、社会課題の解決に向け尽力し、地域に貢献する企業を目指す。誇りと信念を持ち、揺らぐことなく、王道を歩んで行く。

挑戦し続ける

私たちは、誰もやっていないことにチャレンジする。ほかの会社が取らないリスクを果敢に取っていく。失敗したっていい。何度倒れても立ち上がり、挑戦し続ける。

地域と共に生きる

地域の方々の支えがあったから、ここまで来ることができた。だから私たちは、地域の声を聞き、地域のために汗をかく。地域の方々に必要とされる存在になるために。

人を中心に据える

私たちは常に、人を中心にして考える。多様な人材を育て、その力を最大限引き出す。互いを尊重し、本音のコミュニケーションを図りながら、最強のチームを作る。

Code of Conduct

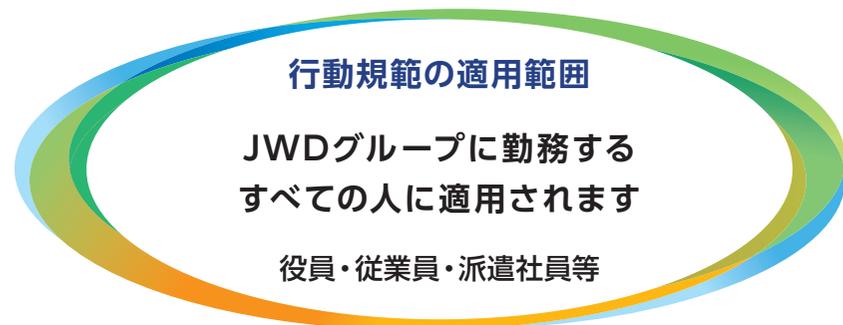
JWDグループ行動規範

フィロソフィーを実現するための前提として、
全員が遵守すべき基準

私たちがすべての事業活動を誠実に遂行することは、ますます重要になってきています

何を達成するかのみならず、それをどのように達成するかということの重要性についても再認識する必要があり、私たち一人一人が自らの言動を通じてJWDグループのフィロソフィーを実践し、公正さと誠実さを常に意識して行動する責任があります

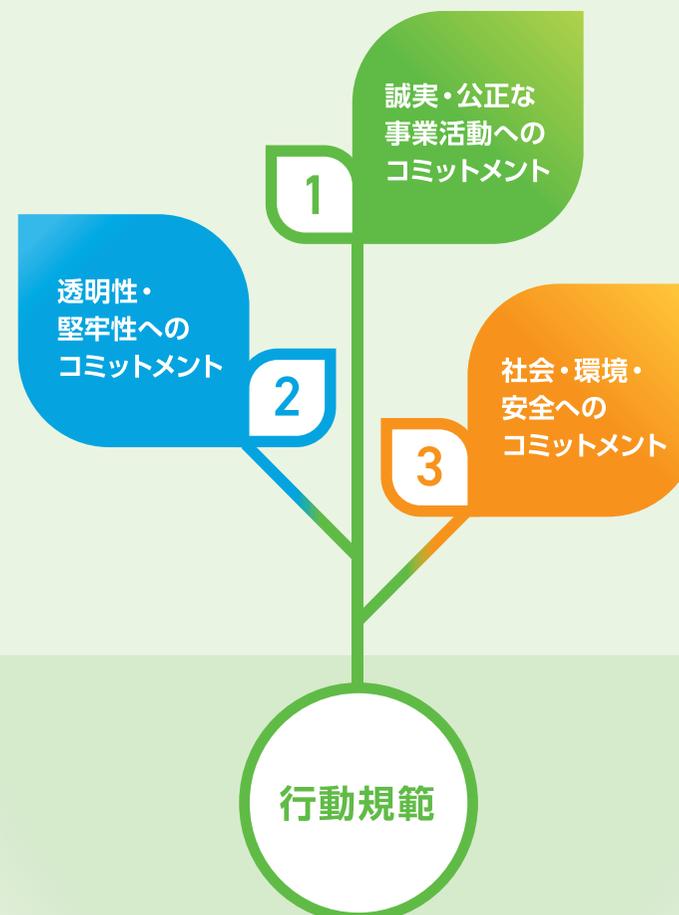
この行動規範の p.6～p.11 では、会社の理念を皆さんの日々の業務の中でどのように実現していくのかという観点から、具体的に社員としてどのような行動が求められるのかを、できるだけ分かりやすく示しました



この行動規範に反した場合は、グループ各社が定める就業規則に基づき、懲戒処分の対象になることがあります



また、他者のルール違反や、会社の信用を傷つけ、利益を損なうと思われる行為等を知りながら対応しなかった場合や、知っているべき責任ある立場にあるにもかかわらず放置した場合も、責任を問われる場合があります



行動規範は「3つのコミットメント」より構成

① 誠実・公正な事業活動へのコミットメント

法令や社内規程を遵守します

- 業務に関係する法令について学習し、必要な研修を真摯に受け、社会規範を尊重します
- 社内規程に反するような不正または不誠実な行為は一切行いません



積極的に競争する一方で公平であり続けます

- 公正に競争し、競合する他社の能力を不当に制限していると受け止められる行為は行いません
- 競合他社に関する情報を収集する場合は公正な方法で行います
- 入札において定められたルールを遵守します



インサイダー情報を悪用しません

- インサイダー情報に基づいて有価証券を取引しません
- インサイダー情報をJWDグループの社外で共有しません



贈収賄や汚職に関する行為を行いません

- 贈収賄および汚職防止に関する法令を理解し、それらを遵守します
賄賂の申し出、支払いおよび受領を拒否します
- 政府および自治体の職員またはそれらが管理する事業体の職員、政党や政党组织員、公職候補者、公的機関の職員に対し、利益の授受は行いません
- 取引の維持、確保、または不当な優位性の獲得を目的とした利益の授受は行いません



贈答・接待の授受は責任をもって適切にします

- ビジネスパートナーとの良好な関係構築のため、正当な事業目的を支援し、その状況で合理的かつ適切な場合のみ贈答品・接待等を授受することを理解します
- 私用での接待、不適切な頻度での接待の授受はしません
- 贈答品・接待等を授受する場合には、以下を遵守します
 - ▶ 業務上の目的を事前に特定し、賄賂に解釈される可能性があるような、不適切な目的における贈答品や接待の授受はしません
 - ▶ 華美、高額でない等社会的儀礼の範囲内とします
 - ▶ 接待は業務遂行に適した環境で授受します
 - ▶ 接待交際費を正確に報告し、記録します



利益相反を管理します

- 会社と利害関係の対立を起こすような活動に関わらないようにします
- すべての役職員は個人の利益で業務上の意思決定をしません



ビジネスパートナーを慎重に選びます

- 取引を行う前にビジネスパートナーについて審査を実施し、正当な事業活動に従事していることを確認します。
長期的な関係を持つ場合はこのプロセスを定期的に繰り返し実行します
- 反社会勢力と関係を持ちません



② 透明性・堅牢性へのコミットメント

正確な財務報告および社内記録を維持します

- どのような取引でも改ざん、隠蔽、虚偽の報告をしたり、取引の本質に関する記載を省略したりしません
- 社内記録や文書は適切に管理し、監査・調査・法的手続きに必要な情報は絶対に破棄しません



会社の資産を守ります

- 雇用期間中に提供されるJWDグループの資産（電子的・金銭的・物理的資産）を個人的な利益のために使用しません。
また、不注意、不正、紛失および盗難から資産を守ります
- 事前の適切な承認を得ることなく、JWDグループの資産を処分、売却しません
- 出張費や経費を適切に処理します



知的財産を守り尊重します

- JWDグループの企業活動により生み出されるアイデア・営業秘密などの無形資産を保護し、使用します
- 社外への機密情報の開示の前には、機密保持契約の締結等適切な保護を行います



非公開情報・機密情報・プライバシーを守ります

- JWDグループの競合情報、財務情報、戦略などに関する情報を慎重に取り扱い、不正開示、不正利用から情報を保護します
- 業務上知り得た従業員及び社外の人間の個人情報については、業務目的のみに使用し、厳重に管理します



情報セキュリティを徹底します

- アクセスが許可されている情報だけを利用し、情報の共有や保存を行う際にはJWDグループが承認したツールを使用します
- 電子メールを注意深く確認し、疑わしい電子メールを受信した場合には、直ちにEEMに報告します



責任をもってコミュニケーションを図ります

- ソーシャルメディアへの投稿に責任を持ちます
- 許可を受けていない場合にはJWDグループを代表して発言しません



③ 社会・環境・安全へのコミットメント

地域の経済・文化・教育への発展に貢献するよう行動します

- これまで地域の方々に支えられてきたことに感謝し、今後も地域の声を聞いて、地域や社会の課題解決に向けて尽力します
- 従業員が日々の業務やそれ以外においても地域社会に貢献できるよう、社会活動に取り組む社員をグループ一丸となって支援します



地球に配慮します

- エネルギー自給率の向上や脱炭素社会の実現に向け、ビジネスパートナー等あらゆるステークホルダーと協働します
- 二酸化炭素の排出等日々の行動が環境に与える悪影響を最小限に抑えます
- 産業廃棄物の削減に努め、環境汚染を最小限に抑えます



人権を尊重します

- 多様性を受け入れ、たくさんの異なる見解と視点から創出される優れたアイデアにより、強固な集団を目指します
- 職場における平等な取り扱い、公正な待遇を推進します
- 他者の権利を侵害しないようにします



ハラスメントのない健全な職場環境の維持に取り組みます

- 社内の身体的、性的、言語的、視覚的なハラスメントを容認せず、すべての人が尊重されていると感じられる職場環境を構築します
- 他者への侮辱や脅迫等、個人の身体的または精神的な健康を脅かす不適切な行動は決して認めません
- 誰もが自分の意見を表明したりできるオープンなコミュニケーションが可能な職場づくりに取り組みます



安全衛生活動を推進します

- 関係法令並びに各社・各事業所の自主管理基準を遵守して労働災害を防止し、職場におけるリスクを特定してこれに対処します
また、事故、負傷、ヒヤリハット事案は、直ちに社内で共有して事故を未然に防ぎます
- 万が一の事故発生時には社内ルールに則り的確に情報共有をし、二次災害防止や、原因究明を徹底して再発防止に努めます
- 従業員一人ひとりが安全衛生や職業病予防についての教育を受け、積極的に安全衛生活動に取り組み、皆の安全と健康の確保された職場環境づくりと安全文化の醸成に努めます
- 合理的な安全衛生管理システムを運用します



正しい判断のために

皆さんは、日々の業務において、数え切れないほど多くの決定をしています
判断に迷う時は、この行動規範に立ち返って、正しく判断をするために次のように
自問してください

- 法令に反していませんか？
- JWDグループのフィロソフィーに則していますか？
- JWDグループの行動規範・社内規程と矛盾していませんか？
- 社外に対して、堂々と公表できますか？



すべて「はい」の場合

実行してください！

あなたは正しい判断をしています



一つでも「いいえ」がある場合

実行してはいけません！

自分自身や関係者を危険にさらし、
JWDグループの信用が損なわれる
可能性があります



もしもこの行動規範に記載されていない状況に直面し、判断に迷う場合は、上司または管理本部に相談してください

上司がなすべきこと

自ら模範を示し、フィロソフィーや行動規範に示された行動を実践する

上層部が徹底してコンプライアンスを遵守し、
正しく誠実な組織風土を構築します



日頃からフィロソフィーや行動規範について職場内で話し合う

倫理の重要性や正しい行いについて話し合い、
声をあげやすい環境構築をします



行動を起こす

違反または違反の可能性に気づいた際、直ちに通報します
通報者に対する不利益な取扱いは一切容認しません



メンバーがなすべきこと

知識を身につける

法令、行動規範、フィロソフィーや規程に精通し、
それが自分の業務にどのように適用されるかについて学習し、
それを毎日の業務に適用します



助言を求める

不明な点があったり、対処方法がわからない場合は、
行動する前に上司や管理本部等に相談します



声をあげる

行動規範、法令、フィロソフィーに反する可能性がある
行為や活動に気づいたら、通報します



JWDグループは潜在的な不正行為を発見し、それを回避しようとする皆さんの勇気ある行動を高く評価して真摯に対応します

万が一、法令違反もしくはこの行動規範や社内規程に違反する行為を見聞きした時は、行動を起こしてください

不正行為に該当するか確信がなかったとしても、皆さんには不正の可能性のある行為について、通報する責任があります。判断に迷う場合・疑問に思うことがある場合にも迷わず連絡してください

社内

上司や管理本部に相談する



社外

JWDグループ内部通報窓口を利用する



Webフォーム



メール



電話



書面

声をあげることは正しい行動であり、皆さんの責務でもあります



JWDグループは、誠実に通報をした人、調査に協力した人への詮索や報復は絶対に許しません



それを理由に不利益な取扱い（脅迫やハラスメント、不適切な人事評価等）を受けるようなことは決してありません。むしろその報復行為は行動規範に違反するもので、関与した役職員は懲戒処分の対象になります



以下の例は誠実でない通報で、このような不正な報告を提出すること自体が行動規範に違反し、懲戒処分の対象になります



- 他人への報復や嫌がらせをするため
- 対立している相手との関係を自分に有利にするため
- 人を陥れるため



第三者機関が運営するJWDグループの内部通報窓口

社内の誰かには話しにくい場合や、匿名での通報が可能で安心して報告ができます
不正の通報の他、ハラスメントやメンタルヘルスの相談、改善提案にも幅広く対応しています

受付内容

- 法令違反
- 社内ルール違反
- ハラスメント相談
- メンタルヘルス相談
- 意見・要望・改善提案

通報手段

Webフォーム	[Redacted]
電話	8:30-19:00 (※土曜～17:00 日祝は除く)
メール	詳細は上記Webにて紹介
書面	



※相談者が会社への報告や対応を求めない場合や、通報・相談内容により調査の対象とならないケースでは③以降の対応がとられないことがあります



行動規範について不明な点がある場合は、
日本風力開発株式会社 管理本部 compl@jwd.co.jp までお問合せください